



南高 SSH だより

第 2 号
令和 2 年 11 月 11 日
新潟南高等学校
SSH 総務部 発行

「江風 SSG」の紹介

本校の2年生普通科(8クラス)は年間を通じて「江風 SSG」に取り組んでいます(週1時間・学校設定科目)。これは、1年次の江風探究ユニットで育成した探究力(課題発見力・仮説設定力・計画力・実証力・考察力・表現力)を、課題研究の手法として普及・発展させることによって、身近な課題を見つけ、主体的・協働的に解決できるような力を身に付けることを目的としています。

今年度で本活動も4年目になりましたが、新たな試みとして、自分たちの研究と社会の課題とのつながりを意識させるため、SDGs の内容から各自の研究テーマを考える機会を設けました。また、探究活動の一連のサイクル(課題発見→仮説設定→計画→実証→考察→表現)を年間で2回実施することにより、一層の探究力の育成を図る内容としました。残念ながら、新型コロナウイルス感染症による臨時休校などの影響で、当初の予定どおりに実施できなかった活動もありますが、ここまでの取組を紹介いたします。

【4～5月】1年次の振り返りと今年度の見通し

最初の授業で学年集会を開き、1年次の江風探究ユニットの振り返りと、今年度の活動について説明をしました。振り返りは、本校で作成したループリックを用いて、自己評価をさせました。ループリックは今年度の探究活動における指標になりますので、意識付けをさせることもねらいとしました。そして自分たちの研究(探究活動)と社会の課題とのつながりを意識させるため、SDGs の内容から各自の研究テーマを考えることを伝えました。

2回目の授業では SDGs に関する講演会を開く予定でしたが、臨時休校に入ったため、休校期間の課題を提示しました。アンケート用紙を配付し、外務省の SDGs に関する動画などを見て、興味ある SDGs の目標や学問分野について回答してもらいました。また、「マンダラート」を使って、研究テーマを絞る活動も課題として実施しました。

5月も臨時休校が続きましたが、登校日にアンケート用紙を回収し、班編制(3～4人で1班)をするための資料としました。また、生徒たちには「マンダラート」から抽出したキーワードを調べることを課しました。

【6～7月】研究テーマ設定と研究計画書の作成

6月に入り、通常登校となりましたが、本活動については、文部科学省のマニュアル※を踏まえ、1教室の生徒数を 25 人程度までに抑え、マスクの着用や換気を徹底しながら実施しています。

※文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～(2020.5.22 Ver.1)」

6月最初の授業では、前半は放送により今後の予定と当日の活動について説明し、後半は班ごとに分かれ、研究テーマの検討を行いました。



【活動の様子】

その後6月から7月にかけて、ワークシートに沿って、リサーチクエストの設定や、仮説を考える作業を行い、7月中旬を目途に研究計画書を作成しました。

7月最後の授業では、3年生が昨年度取り組んだ研究の発表会を実施し、2年生に見通しを持たせる機会を設けました。密を避けるため、Web 会議システムを利用して発表の様子を各教室のスクリーンに投影し共有しました。



【3年生の発表を共有】

【8～10月】調査・研究と中間発表

夏季休業明けから、各班の計画に基づき調査・研究(実験)を始めました。引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意しながら進めていきました。

9月の終わりには、ここまで調査・研究した内容をポスター(A3判)にまとめ、10月に発表会を行いました。発表は各教室のスクリーンに投影して実施しました。



【中間発表の様子】

【今後の予定】自己評価、後半の活動

これまでの活動を振り返り、ルーブリックに基づいて自己評価を行いました。授業担当者からも評価とアドバイスをもらい、生徒と共有することで、後半の活動にいかしていきます。

年度末には各自が活動の成果を論文にまとめ、班ごとにポスター発表をする予定です。